

## 検査内容変更ならびに受託検査中止項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
 平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。  
 さて、この度、別表に掲げる項目につきまして検査内容の変更ならびに検査受託を中止させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内する次第です。  
 誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬 具

### 記

#### 検査内容変更項目

実施期日 (注1) 平成22年3月30日(火) 受付分より

実施期日 (注2) 平成22年3月31日(水) 受付分より

実施期日 (注3) 平成22年4月 1日(木) 受付分より

#### 検査中止項目

最終受付日(注4) 平成22年3月31日(水)

### 検査内容変更一覧

コード (統一コード)	検査項目名	変更箇所	新	旧	備 考	注
16300 (5E055)	レジオネラ抗体	検体量 基準範囲 所要日数	血清0.2mL 256 倍 未満 7~11日	血清2mL 128 倍 以下 13~16日	検査内容の見直し	注1
4656 (5D018)	AFP-L3分画	コード番号 検査項目名 検査方法  報告成分 所要日数	4656 (5D018) AFP-L3分画 LBA(LBA-EATA)法  L1、L3分画 5~6日	4655 (5D018) AFP-L3分画比 レクチン親和電気泳動/ イムノプロット L2、L3分画 6~7日	精度向上(検査方法変更)	注2
-	EGFR遺伝子変異解析	所要日数 備考	7~11日 ホルマリン固定検体では、固定条件によってDNAが断片化しているために解析不能な場合があります。	9~12日	検体採取条件追加	注2
15025 (5F203)	EBEADR-IgM	検体量 保存 所要日数	血清0.2mL 凍結 5~7日	血清0.3mL 冷蔵 5~6日	検査内容の見直し	注2
23290 (5C065)	2マイクログロブリン(血清) (BMG)	基準範囲	0.9~2.0 mg/L	1.3~2.2 mg/L	精度向上(試薬変更)	注3
23300 (5C065)	2マイクログロブリン(随時尿) (BMG)	基準範囲	289 µg/L以下	271 µg/L以下	精度向上(試薬変更)	注3
3615 (5C015)	1マイクログロブリン(血清) (AMG)	検体量 基準範囲  所要日数	血清0.5mL M 10.0~21.0 mg/L F 8.3~16.4 mg/L 4~5日	血清0.4mL M 10.6~20.9 mg/L F 9.6~18.6 mg/L 2~5日	検査内容の見直し	注3
3620 (5C015)	1マイクログロブリン(随時尿) (AMG)	基準範囲  所要日数 報告桁数	M 0.60~16.60 mg/L F 0.50~9.75 mg/L 4~5日 小数第2位報告	M 14.1 mg/L以下 F 7.0 mg/L以下 2~5日 小数第1位報告	検査内容の見直し	注3
1615 (5C080)	血清アミロイドA蛋白 (SAA)	検体量 所要日数	血清0.5mL 4~5日	血清0.4mL 2~3日	検査内容の見直し	注3
23255 (5A025)	IgD	保存 所要日数	凍結 4~6日	冷蔵 2~3日	検査内容の見直し	注3